

アフガニスタン支援 - 平和を求め続けて

～ 23年間の活動とイランへの留学、そしてこれから～

内戦を紹介した写真展を見たことをきっかけに「宝塚・アフガニスタン友好協会」を立ち上げ、たった一人で難民キャンプへミルクを届けることから始めた活動は 23 年、渡航は 40 回を超える。

女性の教育を禁じ、虐げられる身の不自由さを目の当たりにし、日本での講演会や写真展で寄付を募り、国立ナンガルハル大学に女子寮を建設する大事業まで手がけた。2016 年には、古都ヘラートに伝わる細密画の研究書を日本語に翻訳し出版、州政府より感謝状を受ける。

「この人たちの役に立ちたい」「私がやるしかない」と、深く心に決めてはじめて支援活動は昨年 3 月に区切りをつけたが、「人間はいくつになっても成長出来る」と 8 月末から 3 か月間、イラン・フェルドーシー大学への念願の語学留学を果たした。

82 歳の最年長の新生となり、ペルシャの奥深い文化にふれ、今も探求心は尽きない。



【 講師 】

西垣 敬子 さん

元 宝塚・アフガニスタン友好協会 代表

1935 年台湾生まれ。59 歳だった 1994 年 1 月、「宝塚・アフガニスタン友好協会」を設立。以後毎年定期的にアフガニスタンを訪問し、女性と子どもへの支援活動を続ける。2017 年 3 月、活動を終了。毎日新聞社「毎日国際交流賞」。井植国際文化賞、神戸キワニス社会公益賞、ソロブチミスト神戸「ルビー賞」など多数受賞。宝塚市在任。

平成 30 年

【 日時 】 3月 16日 (金) 10:00～12:00

- ◆ 対 象 : テーマに関心のある女性 30 人 *先着順
- ◇ 参加費 : 無 料
- ◆ 保 育 : 10 人 (1歳～就学前まで) 無 料 要予約
- ◇ 申 込 み : 2月 1日 (木) 9:00 ～ 電話 または 窓口 で受付
宝塚市立男女共同参画センター(0797-86-4006) へ
* * センターの HP から申し込みが出来ます * *

【 パネル展 】 2/1～3/16 まで 宝塚市立男女共同参画センターにて開催。ぜひご覧ください。(裏面参照)

主 催 宝塚市立男女共同参画センター・エル

宝塚市指定管理者

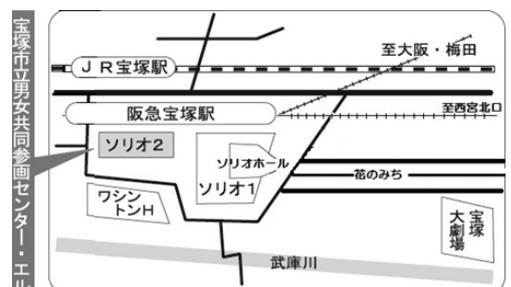
NPO 法人 女性と子どものエンパワメント関西

宝塚市栄町 2-1-2 「ソリオ 2」 4 階

電話 : 0797-86-4006 FAX : 0797-83-2424

<http://www.takarazuka-ell.jp/>

(駐車場はありませんので、公共交通機関でお越しください)



※申し込みにあたってお預かりする個人情報は本講座以外の目的で使用することはありません。

パネル展

アフガニスタン支援 - 平和を求め続けて

～ TAF A 23 年間の活動から ～

2/1(木) ～ 3/16(金)

(宝塚市立男女共同参画センター フリースペース)

【宝塚・アフガニスタン友好協会の主な歩み】

(神戸新聞 NEXT 参照)

1994 年	協会設立。難民キャンプに文具 2 千人分寄贈。 大型テント 5 張寄贈。 (赤ん坊は夏に皆死んでミルクはもう要らないと言われ、帰国時にパキスタンでテント発注。95 年にテントで勉強しているのを確認。)
1995 年	難民キャンプに洋裁教室開設 ①
1997 年	タリバン政権が洋裁教室を強制解散
1998 年	隠れ学校の支援開始 ②
2001 年	孤児の少女に義足寄贈。タリバン政権崩壊
2003 年	ナンガルハル大学教育学部に女子トイレ建設 ③
2007 年	同大学に女子寮完成 ④
2016 年	美術史本翻訳でヘラート州政府から感謝状



①



②



④



③

